

令和2年度

学生によるオレンジリボン運動

関西学院大学 実施報告書



実施主体 馬場ゼミ

実施内容 令和2年11月9日～27日 学校内でのポスター等掲示

①事前に取り組んだ内容

授業や自主学習において児童福祉や児童虐待に関する現状や課題などについて学習した。現状を学び、児童虐待が早急に解決しなければならない深刻な社会問題であるということを改めて認識し、自分たちの学生という立場で何が出来るかを話し合った結果、コロナウイルス渦であることも考慮しポスター掲示やオレンジリボン配布等での啓発活動を行うことを決めた。

②実施期間に取り組んだ具体的内容

- 学部校舎内、大学図書館の二箇所でのポスター掲示
- 手作りオレンジリボン配布
- オレンジリボン啓発用オレンジリボン布台紙を印刷した葉を配布
- 189及びオレンジリボン運動に関する認知度調査

③オレンジリボン運動を終えて…

児童虐待は決して私たちの知らない遠いところで起きている問題などではなく、自分達の身近でも起きているかもしれないものであり、市民一人一人が児童虐待防止の意識を持たなければならないと強く実感した。

私達はまだ学生であり、出来ることは限られるかもしれないが、それでもできる限りのことをしていかなければならないと感じるようになった。

私達のゼミでは昨年よりオレンジリボン運動を行っているが、これからも継続して児童虐待防止のための啓発活動が行われるよう、思いを引き継いでいきたいと思う。

